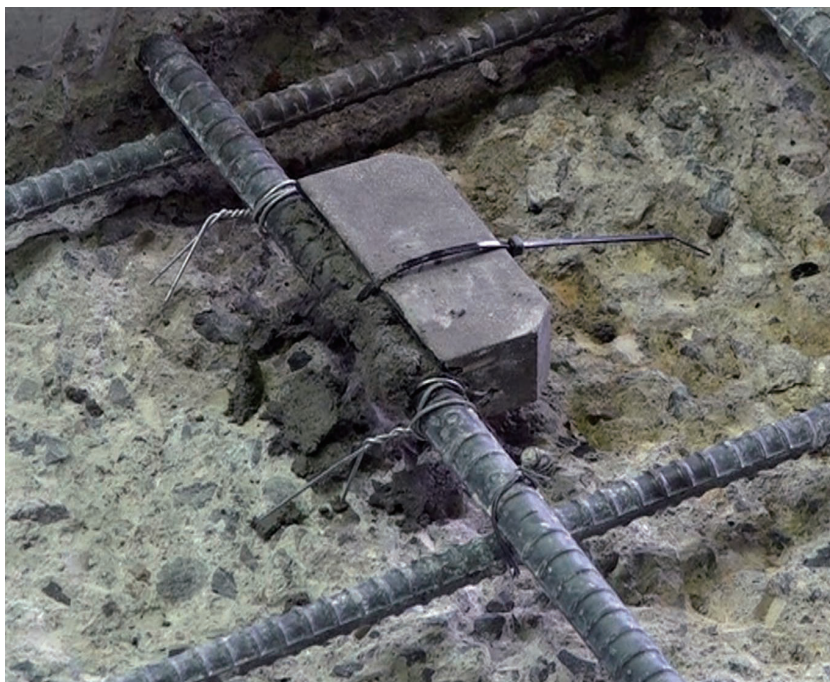




鋼材を腐食から守る犠牲陽極材

SHO-BOND サビナインZ

Sacrificial Anode to Protect Steel



▶ 9つの特長

- ①優れた腐食抑制効果
- ②効果を持続させる特殊モルタル
- ③腐食抑制範囲の拡大
- ④施工性向上
- ⑤はつり量の低減
- ⑥目的に応じて3タイプを用意
- ⑦多くの断面修復材に対応
- ⑧メンテナンス性向上
- ⑨表面に出ない



耐用年数＝30年、25年、20年の3タイプをラインアップしています。

ショーボンドマテリアル株式会社

サビナインZとは

サビナインZは、内蔵された亜鉛と鉄筋のイオン化傾向の差を利用し、腐食抑制電流を鉄筋に対して流すことで腐食を抑制します。V字型の切り込みのある形状により、鉄筋への取り付けが正確で容易です。

期待耐用年数に応じて3タイプを用意しています。

種類	亜鉛量	耐用年数	寸法
α	38g	～20年	25×56×75mm 以上
β	100g	～25年	35×50×105mm 以上
γ	200g	～30年	33×50×120mm 以上

特長

①優れた腐食抑制効果

内部に含まれる高品質な亜鉛のインゴットによって長期間継続的に腐食抑制電流を供給し続けます。

②効果を持続させる特殊モルタル

2種類の亜鉛刺激促進剤を添加することで、長期間継続的に腐食抑制電流を供給します。

③腐食抑制範囲の拡大

V型の絶縁板は、腐食抑制電流の影響範囲を広げます。

④施工性向上

V型の絶縁板により容易にかつ正確に取り付けることが可能です。

⑤はつり量の低減

V型の絶縁板により、鉄筋側面に取付けられるため、鉄筋背面に穴を掘る必要はありません。

⑥目的に応じて3タイプを用意

⑦多くの断面修復材に対応

電気抵抗率の条件を満たせば、様々な断面修復材が使用できます。

⑧メンテナンス性向上

電源が不要です。

⑨表面に出ない

鉄筋側面に取付け可能なため、断面修復材内部に隠れます。

施工手順

①施工箇所の前処理

- 施工箇所の前処理を実施します。

②鋼材間の導通確認

- 露出させた鉄筋間の導通をデジタルマルチメーターを用いて、1mV以下であることを確認します。
- 1mV以上の場合、導通が取れていないため、導通用鋼材を設置し、防食対象となるすべての鉄筋の導通が得られるように処理します。

③鉄筋の表面処理

- 設置用ワイヤーを取り付ける部分の、鉄筋表面の錆などが付着している場合はサンダーを用いて地金が出るまで除去します。

④サビナインZの取り付け

- V型絶縁板にモルタルを充填し、V型絶縁板を鉄筋に沿うように設置し、堅固にワイヤーを鉄筋に巻きつけます。

⑤鋼材-サビナインZ間導通確認

- サビナインZと鉄筋が電氣的につながっているかデジタルマルチメーターを用いて確認します。
- 直流電圧で1mV以下あるいは直流抵抗で3Ω以下であることを確認します。

⑥断面修復処理

- サビナインZの取り付け完了後は、電氣的抵抗率が材令28日で50kΩ・cm以下、好ましくは15kΩ・cm以下の断面修復材でサビナインZを覆います。
- かぶり厚さを15mm以上とします。



使用上のご注意

- 使用するまでは、密閉式ビニール袋より取り出さないでください。
- 直接手で触れず、手袋などを使用して作業してください。

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

■製造元

ショーボンドマテリアル株式会社

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台 2-8-10 TEL. 049 (225) 5611 (代表)

■販売元

ショーボンド建設株式会社

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 7-8 TEL. 03 (6861) 8101 (代表)

●取扱店

《2024年4月版》